

ごうたんえ しんらん 降誕会—親鸞さまのご誕生に感謝—

長ノ木本坊でお抹茶のお給仕をして下さった皆さん。



写真右・三津田支坊のお斎。



五月二十一日は、親鸞
さまのご誕生日（降誕会）
でした。三津田支坊では、
恒例のお斎が参詣者に無

料で接待されました。
長ノ木本坊では、
橋本明宣先生が
改訂された浄土真宗
の教章についてお話
下さいました。参詣
者は、お聴聞の後、
お抹茶を楽しまし
た。

蔵本通支坊は、ビ
ンゴゲーム大会でに
ぎわいました。おつめ
の後、ビンゴゲームま
での間、別々
に過ごすので
すが、今年は
吉岡隆義先
生が「誕生日
は祝ってもらうの
ではなく、お世話
になっている方に
感謝しましょう」
と、子供にも分か
るご法話をして下
さり、子供も保護

いっしょにお聴聞できま
した。また、昨年は子供
が多すぎて収拾がつかま
せんでしたが、今年は賞
品置き場までバリエード
を築いていただき、混乱
なくできました（感謝）。



西教寺賞のフットマッサージャーを
ゲットした古川末子さんとお孫さん



みんな静かに聴聞。

ビルマの壁は音もなく

——ニャンマーのパゴダ巡り——⑥

斉藤久仁子

一生見せ物で？

パタウン族の首長美人女性の踊
りを見た後、能舞台様の建物の左
側にある夫妻の住居を見学する。

右側は、踊った二人の少女の住居
だそう。二階建てと見えたのは、
能舞台に比べて、住居がとても高
い高床建築になっているからであ
る。現地日本語ガイドのMさんと
私を男が案内してくれる。危なっ
かしい階段、というよりごつい梯
子を昇る。手すりもないこんな狭
い梯子を、年取ったら、いや今に
病気にでもなったらどうやって昇
り降りするのだろうか。
濡れ縁から入った最初の部屋
は、壁いっぱいにたくさんの写真
が貼り出されてあった。いずれも家
族の記念写真と思われる、奥の部
屋へ入ると、薄暗い中に、十代前
半と後半と思われる二人の少女が
いた。人がいることを予想してい
なかった私は慌てた。Mさんが、
夫妻の娘だと教えてくれた。二人
は首を長くしていなかった。いく
ら首が長いほど美人だとされてい
るといったって、現実生活での不
自由は目に見えている。さきほど、
悲しそうな表情を変えないまゝ
踊った母親を見た後だから、自分
は首を長くしていても娘たちには
させなかった親の心が分かる。首
を長くすると学校へ行けないし、
首を長くしないと故郷の村へ帰れ

